

とよま公民館だより 11月号 号外

【発行】とよまコミュニティ運営協議会 【TEL】(0220) 52-2316



第48回とよま文化祭 開催

10月30日、登米公民館大集会室を会場に「第48回とよま文化祭」を行いました。当日は天気にも恵まれ、例年以上の330人に来場いただきました。

文化祭では、登米小・中学校、登米高校の生徒や公民館主催教室の参加者の作品を数多く展示しました。また、町内各団体や個人の作品・研究成果も出展いただき、文化の町・とよまを彩っていただきました。



【出展協力団体】

- ・登米小学校・登米中学校・登米高等学校(写真部、情報文化部、美術部)・登米総合支所健康づくり係
- ・登米児童館・社会福祉協議会登米支部・登米幼稚園・登米北上こども園
- ・恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘・養護老人ホームきたかみ園・とよまスポーツクラブ蔵っこ
- ・NPO 法人奏海の杜・手のひら手作り講座 ・清野和裕氏(天体写真)・とよまフォトサークル・とよま俳句会
- ・歴史懇話会・登米公民館(星空観察会、フラワー教室、パッチワーク教室)

荷台を店舗に「軽トラ市」開店

文化祭に併せ、公民館駐車場にて「軽トラ市」を行いました。出店はわずか4業者だけでしたが、自らが丹精込めて育てたお米、長芋、里芋、大根、ブロッコリーなどの新鮮野菜やお手製の漬物が完売続出で、大いににぎわいました。

出店いただきました皆様、お疲れさまでした。そして、次回もよろしくお願ひします。



モネの空を見上げてみよう ～登米の気象と気候のこれから～



文化祭の特別講演として、おかえりモネ効果で気象への関心が高まっていることを背景に、背景に、岡山から南三陸町に移住された元南極観測隊員・気象予報士の石井洋子氏を講師にお招きし、特別講演会を開催しました。

30名の方々にご参加いただき、おかえりモネで放映された気象に関するコメントの有意性やローカルな観天望気等が紹介され、皆さん熱心に聞き入っていました。また、北上川の水温、放射冷却、太陽光パネル等にしての質問があり、関心の高さが伺えました。

子ども服おさがりマルシェ

町内の方々をはじめ市内の方々からおさがりをいただくことができ、ありがとうございました。当日は、多くの皆さんに367点ものおさがりをできたことに嬉しく思います。今回は、スーツやトレーナー、運動着が多くおさがりできました。環境にやさしい、リユース（繰り返し使う再使用）を目的として今後も、この活動を継続的に開催していきます。

なお、登米子育て支援センター（登米北上こども園内）に、90～120までの子供服を数点置いておりますので、子どもと一緒に行ってみませんか。



お詫び

文化祭において、ご来場の皆さんに振る舞いました、「ずんだ餅」の鮮度が劣化しておりましたことに、本書面を通じて深くお詫び申し上げます。

次年度以降、同振る舞いを行う場合、再発することのないよう衛生管理を徹底してまいりますので、どうぞご容赦願います。誠に申し訳ありませんでした。



『たねるべ』ハロウィンパレード

「手のひらサークル たねるべ」として初めてのイベントは、「ハロウィンパレード」。コロナ禍でとじこもりがちな子どもたちに楽しんでもらいたい！というのが、このイベントの開催理由でした。私達は普段から登米の素敵な人や物を見つけ出し、繋がり合いたい…と活動していますが、その活動のためには多くの人々の助けが必要でした。今回は公民館や地域の方々、ご近所のおじさんおばさん、この企画の主旨に賛同いただいたボランティアの方々、多くの方に協力頂きました。そのおかげで約70名の親子が安全に楽しくパレードをすることができました。



輝く太陽の下、そこには子どもたちの笑顔だけではなく、近所のおじいちゃん、おばあちゃん、子どもたちを見つめる親たちの笑顔も溢れていました。沢山の笑顔のために、新しいことをやっていくエネルギーが登米町には満ちていると確信しています。地域の人々が世代を越えて楽しめるような活動を今後とも行っていきたいと思います。

たねるべ 鈴木 珠美